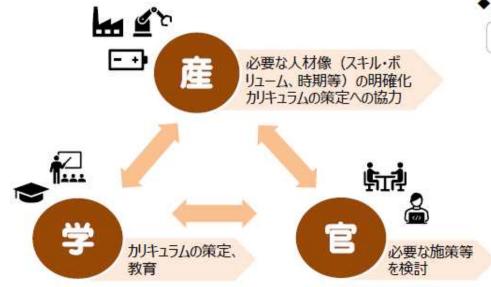


# 関西蓄電池人材育成等コンソシーアムとりまとめについて

# バッテリー人材育成の方向性 〜脱炭素社会の実現と蓄電池産業の競争力強化に向けて〜

### 関西蓄電池人材育成等コンソーシアムについて

- 蓄電池に関連する人材を中長期的、戦略的に育成していくことが極めて重要。
- そのためには、産学官の各々が抱く現状と課題を共有・議論し、育成するべき人材像を検討・整理した上で、産学官が連携しながら、その取組を講じていく必要がある。
- バッテリー人材育成に係る取組を強化している諸外国の動向も踏まえつつ、上記を実践していく場として、**産学官による人材育成コンソーシアム**を組成。



◆関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの体制

#### 本会合

- 全参画機関が出席
- WGで検討される教育プログラムを実装するため各 機関で講じるべき取組み(アクションプラン)を議論
- 教育プログラム以外に必要とされる取組等の提言

#### 人材育成WG

- 産業界が求める人材像・スキル標準を整理
- 教育主体別の人材育成プログラムを、各プログラムの関係機関ごとに集まって検討・作成
- プログラムを実装していくための方法・プロセス、 体制作りを検討

その他WG(必要に応じて設置を検討)

# バッテリー人材育成・確保のプログラムの基本的な方向性

対象となる人材の意思決定プロセスを3つのステップに区分

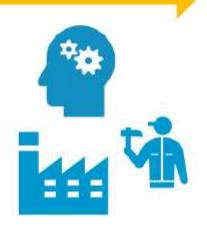
- STEP1:バッテリーについて、学びながら、興味・関心を持つ。
- STEP 2: バッテリーについて、専門的に学ぶ。※対象となる人材像(技能系、技術系)によって学ぶべき内容は左右される。
- STEP 3: バッテリー関連業界で、**働きたいと思い、就活**をする

学びながら、 興味・関心を持つ 専門的に学ぶ

働きたいと思い 就活をする







## 今後の進め方

- 関西近辺では、蓄電池サプライチェーン全体で、今後5年間で合計約1万人の雇用が見込まれている。
- バッテリー人材の育成にあたっては、この雇用見込み人数を意識しがら、以下のようなタイムスケジュールで進めて いく。
- コンソーシアムとしては、年1~2回程度、各アクションプランの進捗を共有し、産学官の意見交換等を行うことを想定。
- また、本取組をバッテリー人材育成・確保のユースケースと位置づけ、産学のニーズを踏まえた上で、全国 にも展開していくことを目指す。

	2023年度 (令和5年度)											2024年度以降(令和6年度以降)				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
高校生	教育機関への事前調整			実施校の募	効果的な学習内容・教 材の方向性や指導方法			太阪公立大高専で	実施校			教育	実施校(※)において 教育プログラム実施 (※)大阪公立大高専舎む			
高専生				実施校の募集	(こついて、産学共同で検 計 調催					・検証専で			教員向け研修会等の実施			
大学生·大 学院生	産総研における体制整備、教育コンテンツ準備等													産総研における教育 プログラムの実施		
社会人	新規参入企業向けの電池講習会の実施													11		
	公共職業能力開発施設において、 企業とアリングによるニーズの整理・分析、育成メニュー等とのマッチング検討															